

# 市電のふるさと



# 市電のふるさと

## 札幌の市電

札幌に初めて電車が登場したのは大正七年。開道五十周年記念大博覧会の開催を契機に停公線（札幌駅前―中島公園間）などの三路線、五三線を走ったのが始まりです。

それまでの交通機関といえば、馬鉄と人力車でした。料金は片道六銭、往復十銭の均一制。当時、かけそば一杯が七銭、銭湯は四銭でした。

こうして走り始めた電車は、昭和二年に市営化され、札幌の発展とともに車両の増強、路線の延長を行いながら通勤・通学・行業に、文字どおり市民の足として、沿線住民のみならず多くの市民に親しまれてきました。

昭和三十六年には混雑緩和のため親子電車が、昭和三十八年には連接車が登場し、ピークを迎えた昭和三十九年は保有車両一五四両、営業路線二五.〇km、一日に二十七万九千人を乗せて走りました。

しかし、都市化の進展とともに、自動車の普及や地下鉄の開通により交通機関の主役の座を明け渡し、路線は大幅に縮小され、一時は全面廃止も検討されましたが、多くの市民から存続を望む声が寄せられた結果、中央区内の八・五kmが残され、現在に至っています。このように、札幌の街の変遷を見つめてきた歴史の重みをもち、市民に「ゆとりとやすらぎ」を与え、「チンチン電車」の愛称で親しまれてきた市電。

まさに、市電は中央区にとって心のふるさとそのものです。そんな市民の愛着の強い市電を中央区のシンボルとして、新しい街づくりを進めることになりました。



## 市電の会

市電の会は、中央区と一体となって、残された市電を生かした街づくりを進め、住民のふるさと意識をはぐくみ、連帯感を高め、地域の活性化を図ることを目的として設立されました。

この会は、事業別に総務委員会など四つの委員会で構成され、沿線の環境整備や行事の開催など、街づくり事業の企画から実施までさまざまな活動を行っています。

会員は、区内で住民活動を行う団体のほか、会の目的に賛同する方を対象としています。

## 個性ある街づくり事業

市電の会では、いろいろな街づくり事業を計画しています。一部はすでに実施したのもあります。

以下、街づくり事業の概要を紹介します。

### ①環境整備

電車の走る通りであることを強くアピールさせるとともに、電車通りの美しい街並みづくりの一環として、十月中旬に全線にわたって軌道敷の一部を電車の色とマッチした緑色で塗装しました。

また、十一月中旬には「西4丁目」「すすきの」「電車事業所前」の各電停に木製ブラントを設置しました。電停に彩りを添え、乗降客の目を楽しませています。

さらに、電車通りのポイントである電停のデザインを一新します。「西4丁目」と「すすきの」は市電の顔として、ほかの電停はそれぞれの地域のシンボルとしてふさわしい電停にしようと計画しています。

### ②行事の開催

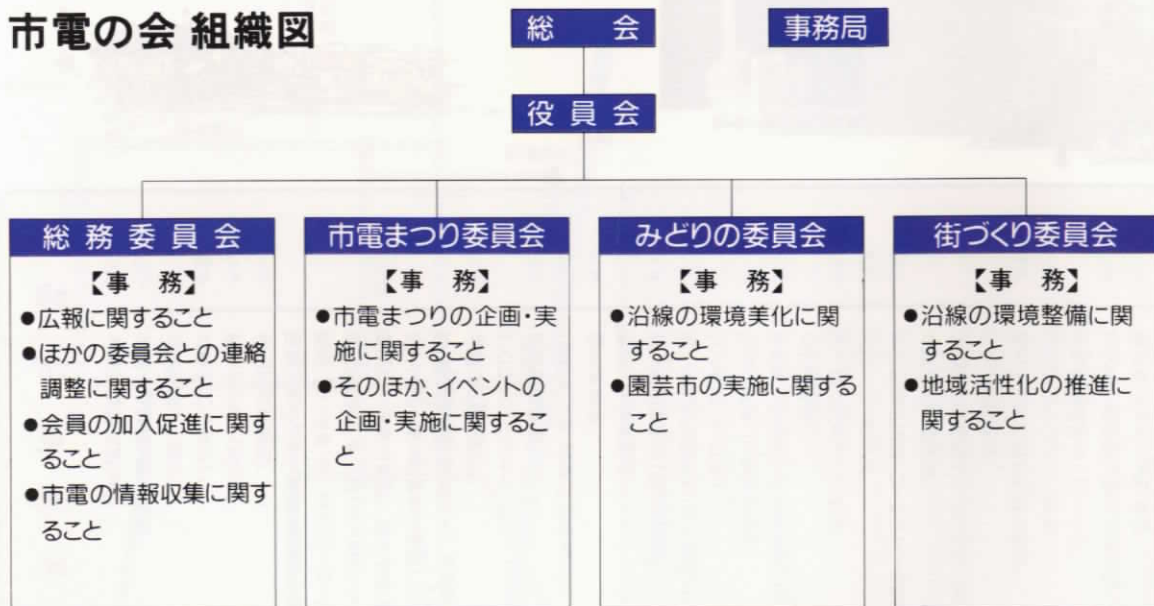
区民が交流を深め、あわせて市電と親しめる行事として、毎年六月に「市電まつり」を開催します。「西4丁目」から「すすきの」までの駅前通りを利用して屋台を出したり、仮設ステージを設けるなど、だれでも気軽に参加できる行事を予定しています。



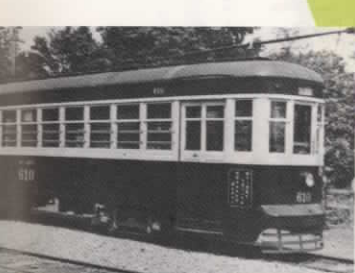




## 市電の会 組織図



# 市電のふると



半鋼製2軸ボギー電動客車  
S24.6(製造)~S46.12(廃車)



大正9年、駅前通り



昭和26年当時の制服



## 札幌市電略年表

41年	39年	38年	36年	35年	34年	33年	32年	25年	20年	9年	7年	5年	昭和2年	11年	7年	大正3年	44年	13年	明治2年	
鉄道友の会から、連接車「A8300型」に	路線延長が25.03kmと史上最長になる。	鉄北新線開通式(麻生町「新琴似駅前」)。	連接車「A800型」新造。	初の親子電車運行開始(2系統)。	電車菜園線撤去(674m)。	札幌市の人口50万人突破。	婦人子供専用電車の運行開始。	札幌市の人口50万人突破。	電車菜園線撤去(674m)。	初の親子電車運行開始(2系統)。	乗務員に学徒労働報国隊を受け入れ(高女生の車掌)。	第1回札幌雪まつり開催。	札幌テレビ塔完成。	藻岩山観光道路「ロープウェイ」営業開始。	札幌市民会館完成。	わが国初の路面ティールセルカーが8月12日	から運行開始。	札幌区役所が開庁。	札幌一宮間に鉄道開通。	札幌本府建設始まる。

明治2年

札幌一宮間に鉄道開通。

13年

札幌区役所が開庁。

44年

北海道庁庁舎竣工。

7年

第1次世界大戦勃発。

大正3年

定山溪鉄道開通。

11年

開通50周年記念大博覧会開催中に電車が

7年

開通、南1条線(南1条西15丁目-南1条

昭和2年

東2丁目間)、停公線(北4条西4丁目札幌

5年

駅前-中島公園間)、南4条線(南4条

7年

西3丁目-南4条東3丁目間)、の3路線

9年

で、車両数24両(定員26人)、片道6銭。

20年

札幌に市制が施行。

25年

(人口127,044人)

32年

市電営業開始。

33年

(車両数63両、路線16kmあまり)。

36年

散水車新造。

38年

市営八雲営業開始。

39年

鉄北連絡線完成(国鉄跨線橋)。

41年

南と北の電車線開通(北4条西4丁目-



市電の歴史



鋼製ボギー電動客車  
S62.3(製造)



鋼製2連連接電動客車  
S40.10(製造)



鋼製2軸ボギー電動客車  
S315(製造)~S46.12(廃車)



61年	60年	58年	53年	51年	50年	49年	47年	46年	45年				
札幌市の人口100万人突破。	ワンマン電車運行開始。	地下鉄南北線開通。	電車第1次営業路線の廃止(苗穂線・豊平線・北5条線・西20丁目線、路線の縮少始まる。	電車完全ワンマン化。	札幌オリンピック開催。	政令指定都市移行。	電車第4次営業路線の一部廃止(北24条)新琴似駅前間(2.5km)現在の路線となる。	電車・バス、70歳以上の老人無料化実施。交通資料館オープン。	地下鉄東西線開通。	地下鉄南北線(麻生~北24条間)開通。札幌市の人口150万人突破。	27年ぶりに新型電車納入。	第1回冬季アジア競技大会開催。	さっぽろの花と緑の博覧会開催。

# 市電のふるさと



大通公園

西8丁目

西4丁目



狸小路



すすきの

創成小学校前

梁田貞音楽碑

浅野邸



中央区民センター

東本願寺  
札幌別院



東本願寺前



中央保健所前

豊平館

八窓庵

札幌市冬の  
スポーツ博物館

山鼻記念会館



中央保健所



中島公園通

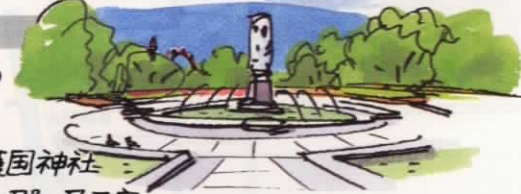
札幌市天文台

中島公園



行啓通

行啓通



札幌護国神社  
遺品殿・展示室

森の歌像

中島公園内「母と子の像」

「鶴の舞」

「猫とハーモニカ」

「笛を吹く少女」

静修学園前

鮫島交魚子句碑

山鼻19条

幌南小学校前



東屯田通



市電沿線マップ



札幌医大  
遊歩道



旧北星女学校宣教師館  
(現北星学園100年記念館)



札幌市資料館

旧教倉亭

中央区役所前

西15丁目 札幌市教育委員会



中央区役所

西線6条



国道230号線(石山通)

西線9条・旭山公園通



西線11条



希望碑

西線14条

山鼻兵村開設之碑  
山鼻記念塔



西線16条

藻岩浄水場

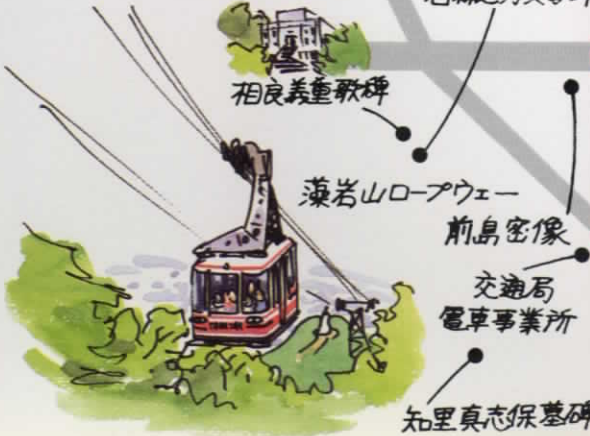
札幌市水道記念館

石森和男詩碑  
石森延男文学碑



相良義重敬碑

藻岩山ロープウェイ  
前島密像



交通局  
電車事業所

知里真志保墓碑

ロープウェイ入口



杉野目邸

電車事業所前

西屯田通

石山通



新札幌市中央図書館  
(仮)埋蔵文化財センター

平成3年春  
オープン予定